



令和元年 8 月 2 6 日

新宿区立江戸川小学校

No. 650

「笑顔」は思考をポジティブにし、そのポジティブな未来型の思考が「成功」を誘う

37日間の夏休みが終わり、元気な子供達の声と笑顔が戻ってきました。今年の夏も猛暑の日が多く、寝不足だったり体がだるかったりしているかもしれません。少しずつ生活リズムを取り戻し、体を慣れさせながら2学期に臨んでほしいと思います。

さて、この夏休み期間中にいろいろな話題を見聞しましたが、その中で私が注目したいニュース(エピソード)が2つありました。それは、どちらも本校が目指している「笑顔あふれる江戸川小」に通じる内容だったので、ここに紹介いたします。

その1つは、**渋野日向子選手の全英女子オープンゴルフの優勝**です。渋野選手は昨年プロテストに合格したばかりですが、今季すでに国内で2勝(メジャー大会含む)を挙げ、資格を得て出場した全英女子オープンでは、なんと初出場・初優勝という快挙を成し遂げたのです。最終日の放送を見ていた私は、終始笑顔の渋野選手に引き付けられ、つい優勝の瞬間まで生放送で見続けてしまいました。どんな場面でも「笑顔」でプレーを続けた渋野選手は、海外メディアから「スマイリング・シンデレラ」と称され、世界のファンをも魅了しました。

私はこれまで、「何事にも全力で一生涯懸命取り組んだ時に真の笑顔が得られる」と、努力して成し遂げた結果としての笑顔が大事だと伝えてきましたが、今回の渋野選手からは、努力や取り組みの過程で笑顔でいることも大事なんだということを、改めて学ばせてもらいました。

実は、渋野選手は、プロになる前の苦しいときに、プレーがうまくいかないとすぐに表情に出てしまい、それが成績の不安定さにつながっていました。それを直すため、ご両親は「感情を出すとスコアが乱れる。常に『笑顔』でいなさい。」とアドバイスをしたそうです。渋野選手は、そのアドバイス通り、プレー中に笑顔を絶やさないようにしてからは、スコアが安定するようになり、どんどん成績も伸びていったのだそうです。その笑顔でプレーを続けてきた結果が、今回の全英女子オープン優勝だったのです。きっと今後もこの笑顔を絶やさずプレーを続けていけば、ランキングもさらに上がり、来年の東京オリンピック2020への出場や活躍につながるのではないかと期待しています。

この渋野選手と似たようなもう1つのニュース(エピソード)があります。それは、今夏の全国高等学校野球選手権大会に石川県代表として出場し、準優勝した**星陵高校の「必笑(ひっしょう)」**という合言葉です。

星陵高校が、この「必笑」で大逆転劇を演じた試合が過去にありました。それは5年前の石川県大会の決勝です。星陵高校は驚異の粘りを見せ、0-8で迎えた9回裏に一気に9点を奪って小松大谷高校にサヨナラ勝ちをし、甲子園出場を果たしたのです。実は、この大逆転劇を生んだときのチームの合言葉が「必笑」で、9回裏8点差だったにも関わらず、「笑顔」で戦って大逆転をしたのです。「笑えば前向きになれる、自分たちの野球ができる。」そんな強い思いを込めた合言葉が「必笑」だったのです。緊張した場面で笑うことで、選手たちはストレスを減らし、リラックス状態を作ることができます。「楽しいから笑う」という発想を逆転させ、「笑うから楽しい気分になる」という効果を「顔面フィードバック効果」というのだそうですが、その効果が9回裏の緊張感をちょうどよいストレス状態にしたのかもしれませんが。今夏の甲子園でも、星陵高校はこの「必笑」を合言葉にして決勝まで進み、準優勝をしました。「笑顔」の力の素晴らしさを感じました。

私は、この2つのエピソードから、「笑顔」は思考もポジティブにし、その笑顔が生み出すポジティブな未来型の思考が「成功」を誘うのだということ学びました。本校の児童にも、考えたり悩んだりする前に、まずは「笑顔」でいろいろなことにトライしたり、友達と接したりさせてみたいと思います。その笑顔の積み重ねが、それぞれの目標達成や成功、友達との良い関係作りなどにつながるものと期待しています。

<校長談話室> 9月9日(月) 10:00~12:00 お一人でもお誘い合わせでも、お気軽にどうぞ 連絡先 3266-1602 副校長まで

8・9月の

生活目標

すすんで

あいさつを

しよう

本年度の研究について

校内研究の教科が算数となって2年目となります。前年度は研究主題を「自ら考え、表現する児童の育成」として、児童自らが問題の解決に向けて主体的に考え、学び合いを活性化させるにはどうしたらいいのかを、教職員一同が一丸となって学びました。そこで、今年度も研究主題は継続して、活性化した学び合いを通して、よりよい解決の方法や新たな問いを見出したりするなど、児童一人一人にとって深い学びになるにはどうしたらいいのかを研鑽していきます。

今後の研究授業の予定として、9月13日(金)に5年1組、11月20日(火)に2年2組となっております。ご承知おきください。